

森林文化への誘い

岐阜県立森林文化アカデミー 学長

篠田 善彦

岐阜県立森林文化アカデミーは、森林と人との共生を基本理念として、すべての人々が森林と親しく関わりを持ち、森林からの恵みを持続的に享受できる社会づくりを目指して平成13年に創設されました。8年が経過し9年目に入りました。

本校は、クリエイター科とエンジニア科の2学科からなっており、それぞれ森林文化の創造に寄与できるスペシャリストおよびジェネラリストを養成しています。これまでに、クリエイター科104名とエンジニア科132名の計236名を社会に送り出しました。50%以上は県内で森林文化に関係するスペシャリストやジェネラリストとして大いに活躍しています。これまでの草創期は、教職員のご尽力により所期の目的を達成し、アカデミーのしっかりした基礎が築かれました。これからは成熟期に向かいます。頑強な土台の上に堅牢なアカデミーを構築したいと教職員一同頑張っています。

さて、現在は世界も日本も経済や社会生活に疲弊した状況です。物の豊かさのみを目指した20世紀でしたが、その付けが21世紀の今、地球温暖化に代

表される地球環境問題となって現れてきました。特に森林の破壊が大きいと思います。今こそ森と水を守ってきた日本の稲作漁撈文明と森を破壊し自然の収奪を進めた西洋の畑作牧畜文明を歴史的観点で考えてみる必要があります。

畑作牧畜民族とは、家畜である羊、山羊そして牛を飼育してその肉を食べ、畑で麦を作りパンを食べ、家畜のミルクを飲み、さらにバターやチーズを作って食べる人々です。畑作牧畜民族の文明の拡大によって森は徹底的に破壊されていきました。

しかし、稲作漁撈民族の日本は、1万5000年前の縄文時代から現在までずっと森の中で、森を破壊せず、森の生き物と共存しながら、きわめてサステナブルに文明を維持してきました。環境を破壊し尽くさずに生きる見事な知恵がありました。本州以南の森は縄文時代以来、3000年かけて30%の森が破壊されただけです。稲作漁撈民族は不毛の土地を豊かな大地に変えてきました。日本は米作を輸入しましたが、羊や山羊を輸入しませんでした。日本のように急峻な地形に羊や山羊が放牧されれば、たちまち草を食べ尽くし表土は丸裸となり、雨が降れば土が流れて大地は崩壊していきます。稲作漁撈民族は、急勾配の土地を何代にもわたって耕して、棚田にしていきます。豊かな土地に変えていく喜びを味わってきました。あまり労力がいらなく、冬に成長する畑作の麦とは違って、稲作は生産意欲

や技術がないと出来ません。水平な水田をつくる技術、水を田んぼ全面に入れる技術、稲の品種改良の技術そして田の草を取る技術等大変な重労働や技術が必要です。日本人は勤労の喜びを味わう価値観を持っていました。水田にはカエル、ドジョウ、フナやコイが泳ぎ、生態系を維持しながら魚を食べていました。豊かな水を維持するには、もちろん豊かな森が必要であり、森の文化も育んできました。天武天皇は五畜(牛、馬、犬、日本猿、鶏)の禁止令で肉食を禁止して森を守りました。

しかし、日本でも明治になってわずか140年間で、北海道の森の30%が破壊されました。これは札幌農学校の初代教頭としてアメリカから赴任したクラーク博士が、羊や山羊や乳牛を連れてきて欧米スタイルの農業を奨励し、欧米と同じ牧場の風土に変える近代化を図ったためであると思います。環境考古学者の安田喜憲先生は、日本の稲作漁撈文明が地球と人類を救うと提言されておられます。その理由として5点を挙げておられます。①稲作漁撈民は不毛の大地を豊かな大地に変え、急傾斜地に美しい棚

田を造成してきました。さらに、不毛の大地に木を植えて生命に満ち溢れた美しい世界を構築することの喜びを感じた人々でありました。②稲作漁撈民は森と水の循環系を守るためにタンパク質を水界に生息する魚から摂取し、上流・中流・下流の人々が水を核とした運命共同体を構築してきました。③稲作漁撈民は生物の多様性の維持をしてきました。それは水田の生き物たちの多さを見れば明らかであります。水田は生き物たちの楽園だけでなく、地下水

を浄化し、気候を穏やかなものにした。④稲作漁撈民は慈悲の心と利他の心を持ち、水を美しく利用し、人を信じ、自然を信じるのが出来ました。⑤稲作漁撈民は欲望をコントロールする方策を維持してきました。こうした5つの稲作漁撈民の生き方の延長線上に生命文明があり、この生命文明こそが21世紀の地球環境問題を解決できるキーワードですと安田先生は強調しておられます。正に、森林文化アカデミーの基本理念であります「森林と人との共生を目指して」と相通する所

があります。21世紀は、心の豊かさを求めたスローライフ・スローフードの生活スタイルにしたいものです。

森林文化アカデミーは森林文化を学び森林文化を伝えていく人材を養成しています。原点回歸し、日本は美しい森づくりに励んでいることを世界にアピールしましょう。そして、森林率82%の岐阜県から「豊かな森づくり」発信しましょう。



▲岐阜県立森林文化アカデミー



▲植樹祭にて

あなたも森林文化に関係するスペシャリストやジェネラリストになってみませんか?